令和４年度第２回契約監視委員会議事概要

１．　日時・開催方式：令和４年12月20日　10：00～12：00　Web会議開催

２．　出席者：

委　員　　鈴木　一夫　（藤光・鈴木法律事務所　弁護士）
委　員　　辻　純一郎　（J&T治験塾 塾長、公益財団法人昭和大学医学・医療振興財団評議員
EPSホールディングス(株) 経営アドバイザー（顧問））
委　員　　加藤　暢一　（加藤公認会計士事務所　公認会計士
国立大学法人東北大学経済学研究科会計大学院　教授）
委　員　　鈴木　裕子　（国立研究開発法人理化学研究所 監事）
委　員　　渡辺　その子　（国立研究開発法人理化学研究所 監事）

３．　説明者等：

筑波事業所　研究支援部　経理課　菅沼課長、下埜調査役
横浜事業所　研究支援部契約課　相原課長　薄葉副主幹
生命機能科学研究センター（BDR）生体分子動的構造研究チーム　今井上級研究員
神戸事業所　研究支援部経理課　松田主査
計算科学研究センター運用技術部門　システム運転技術ユニット　宇野ユニットリーダー
播磨事業所　研究支援部契約課　岸本副主幹
契約業務部　契約第１課　今井課長
量子コンピューター研究センター　田渕超伝導量子計算システム研究ユニットリーダー
事務局　　監事・監査室　馬渕室長　木村調査役　松尾室員　日紫喜室員

４．議事概要：

（１）会議開催について

前回の委員会に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策への必要性にかんがみ、Web会議により委員会を開催した。

（２）新委員の挨拶

理化学研究所監事の交代があり９月１日付けで新監事２名が就任したことに伴い、役職指定である本委員会委員２名についても交代があったことから、鈴木裕子、渡辺その子の両新委員からそれぞれ挨拶があった。

（３）前回議事概要の確認について

事前に確認いただいた前回議事概要を承認した。

（４）令和４年度第１四半期締結契約の点検について（リスト点検）

当期契約全1,139件について、資料にもとづき契約方式、応札者数、随契理由等についての俯瞰的な観点から点検を行った。

（5）令和4年度第1四半期締結契約の点検について（個別点検）

当期契約全1,139件から委員が選定した計6件の契約について、資料にもとづき各契約担当者から説明を受けた後、一般競争入札での競争性確保の取り組み、随契理由・同金額の妥当性等について点検を行った。

（件数内訳：和光1件、筑波2件、横浜1件、神戸1件、播磨1件）

（契約種別内訳：一般競争入札5件（物品5）、競争性のない随契1件（役務1）

今回は、一般競争、競争性のない随意契約を抽出し、各々の契約について、１者応札・応募等の改善取り組み内容、仕様書、契約書の内容、予定価格の立て方等について質疑応答を行い、競争性、透明性の確保がなされているか検討した。一般競争契約の検討に当たっては、事業所で使用する電気の契約について、事業所間での類似点や相違点を比較した。

１）各事業所ともにできる限りの取組み・検証を行っているものの、次のような点の指摘・確認等があった。

① 競争性を確保するために、入札してくれる企業の発掘に努めるべき。

② 電子入札システムについては、どういうかたちで検討しているか。

③ 電気の契約について、昨今の電力価格の上昇も考慮して、競争入札から随意契約とすることも検討すべき。

④ 調達先が1者のみに限られるなど、特殊な仕様の物品（機器等）の購入に際しては、確認公募形式とし、価格交渉に力点を置くべき。

⑤ 従前からやっていた契約手続き方式を受け身（ルーティン的）にこなすのではなく、主体的に見直し検討を行うべき。

（6）単価契約に見る、事業所を跨いだ契約の可能性について

2022年度第1四半期契約実績のうち、単価契約について、センター別、事業所別の実績を分析した。それにより、複数の事業所がまとまって共同調達することにより、契約金額の単価を下げる可能性があり、検討すべきとの意見が出された。

（7）その他

委員から、有事に備えたリスク管理（情報セキュリティ等）についての質問があった。

次回、令和4年度第3回委員会は、2023年3月を予定。諸般の状況をかんがみつつ、日程調整を行うことにする。

以上